

9/14

9.18代議員会で10.21スト方針を確立し

反戦反安保・沖縄奪還

安保推進内閣佐藤打倒の巨大な闘いを準備せよ

昨日の中執決定

- (1) 9月18日 代議員会
- (2) 9月19日 学生部団交 新案その他について
- (3) 9月25日 定例学生大会
- (4) 大学寮実行委員会の組織形態
中執、文芸連、研社連、体育会から 各4名
各学部から2名

昨日開かれた中執において、9月18日代議員会開催が決定された。現在、中執が能く十分果たされず、単にスケジュールのみしな決定できない中において、代議員会の機能は、決定的に重要である。

代議員会公女の仕事

この代議員会の任務は次の点にある。
まず第一に、今秋期斗争の方針、とりわけ10.21学生ストを市大教員スト、専門校止放棄を三つ二つを確立すること。次に、おくれしている大学寮の準備のために大学寮実行委員会を早期に結成し、大学寮の物質的保障である財政を確保することである。

代議員会公女で、10.21市大教員スト、専門校止放棄を決定しよう。

昨秋の秋スト、秋米以来、佐藤政府は70年を明確に意識し、エンタープライズ寄差承認をはじめとし、着々とその布石をうっている。その中において、今秋期斗争は70年斗争を勝利させるために重要な意味をもっている。今秋期斗争の環である10.21斗争は、6.15斗争によって切り拓かれた70年安保斗争を更に発展させ、反戦、反安保、沖縄奪還、安保推進内閣佐藤打倒の闘いとして進めなければならない。現在各地で勃発している基地撤去斗争、弾薬輸送拒否斗争等も、これによって、佐藤政府は一定の右回路線をとりながらも、その強制的行政権力をフルに活用し、全民主勢力に対する弾圧を行なっている。チエコへのソ連軍の侵入を口実に、この下をばりに安保の必要性を説き、そのイデオロギー姿勢を強めてい。この様な佐藤内閣の下史的使命は、一つに、70年安保推進内閣として、二つに、沖縄処理内閣としてある。従って、佐藤内閣を打倒することなくして70年安保斗争は勝利しない。

9.21伊丹空軍基地軍事使用反対斗争を闘おう。

我々は、大阪に於る日本帝国主義の侵略加担の具体的あらわれである、伊丹空軍基地軍事使用反対という侵略拠点破壊の闘いを、単なる個別斗争としてではなく明確に佐藤内閣打倒の闘いと結合させて闘う必要がある。9.21伊丹空軍基地軍事使用反対斗争を、戦闘的、大衆的に闘い、そのエネルギーを10.21を統一した自治会機能でもって戦闘的、大衆的に闘うために、各クラスで討論を始め、9月18日の代議員会を歴史的に成功させよう。

統一会議